

令和7年度予算編成に対する要望書を提出

2024.10.01 発行元 公明党春日部総支部 春日部市中央2-25-30 FAX752-2384



近年の災害は激甚化、頻発化しています。防災・減災への取り組みは急務です。また地球温暖化対策として、ゼロカーボンシティを目指す取組も必須です。深刻化する少子高齢化への対応として将来を見据えた少子化・子育て支援策の充実も必要です。「春日部駅連続立体交差事業」は順調に進み、今後「春日部市中心市街地まちづくり計画」「北春日部駅周辺地区土地区画整理事業」「赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業」など大型事業が控えております。

また現在春日部市では「健幸プロジェクト」を掲げ、様々な施策の展開もしています。

これらを背景に令和7年度予算編成にあたり公明党市議団として、更なる市政発展、市民生活の向上を図る事、防災・減災・災害に強いまちづくり、子育て支援、脱炭素社会や共生社会の実現を目指し、重点要望16項目・大項目18・小項目134の要望書としてまとめ、9月27日に市長に提出しました。

公明党では無料の法律相談を行っております。
お申し込み、その他ご相談・ご要望は

くりばら まで
電話は **090-3476-6526**



小さな声を、聴く力。公明党

春日部市議会議員 くりばら信司



くりばら 通信



希望の 未来は、 実現できる。



希望の未来を断し、勝利の叫びを上げた公明党全国大会。春日部市議団も、政治活動の勝利を期して、勝利の叫びを上げた。

11月に公明党は結党60年の佳節を迎えます。この節目を期して、石井新代表が選出されました。前・山口代表は15年前、政権交代により与党から下野したタイミングで党代表に就任するという、大変な時代にスタートしました。政治の信頼回復に挑戦し続けた15年間でした。公明党は、石井新代表と共に「大衆と共に」という立党精神のまま戦い続けることを、先日の党大会で誓い合いました。

私ども市議団としても市民の暮らしをお守りするために全力で取り組んで参ります。公明党への変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

令和6年9月議会における一般質問より

①：猛暑・熱中症対策について

問

全国あちらこちらで猛暑日の国内最長記録を更新しています。連日のように、熱中症患者の搬送が報じられていました。そこで、先ず始めに、春日部市における熱中症の搬送患者はどうだったのでしょうか。

また、市の熱中症対策としての取り組み内容や、県事業でもある「まちのクールオアシス事業」などの取組や今後の拡充はできないものか。また、かつて市民への意識啓発を兼ねた事業としての「打ち水大作戦」の継続実施は出来ないものか、市内公共施設などでミストシャワーの拡充は出来ないものか、お伺いしました。

答

本年8月末時点における熱中症とみられる搬送患者数は148件でした。市としては熱中症対策として、熱中症の危険がある日には安心安全情報メール、防災行政無線、ホームページなどで啓発しています。クールオアシス事業につきましては、期間の延長を図るとともに、利用できる公共施設の拡大も検討してまいります。打ち水大作戦については効果があるものと認識していることから、実施する時期や態勢、市民の呼びかけ、参加の方法について検討します。ミストシャワーについては、まちなかひろばを利用したイベントでの設置を検討します。



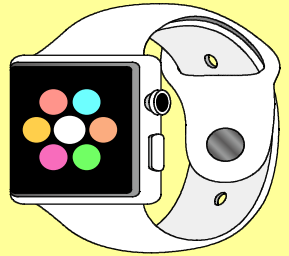
②：ウェアラブル機器を活用した健康管理

問

健康管理の一貫、重症化予防、生活習慣病予防に効果があがるとされ、健康寿命の延伸につながる取組としてウェアラブル機器を活用した高齢者の健康管理についての認識をお伺いしました。

答

高齢化がすすみ、膨らむ社会保障費の抑制対策として健康寿命の延伸は大変に重要であり、ICTなどのデジタル技術を活用した取組が注目されています。ウェアラブル機器から得られたデータを一元管理、分析することで健康寿命延伸に向けた市の健康づくり事業に活かすことが考えられることから費用対効果を含め調査研究します。



③：デジタル地域通貨の導入について

問

地域経済の活性化へ向けた起爆剤となりえるデジタル地域通貨の導入へ向け、昨年9月議会で取りあげました。市としては、導入へ向け関係団体と協議することでした。そこでこの間の取組や今後、導入へ向けた課題などについてお伺いしました、

答

導入自治体の事例を調査したところ、持続可能な運営体制、安定した財源確保、利用者と加盟店の拡大策などの課題があり、この解決策が必要と認識しています。

